

補助事業内容 21-2-034
補助事業名 平成 21 年度認知症支援に関する情報提供補助事業
補助事業者名 公益社団法人認知症の人と家族の会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

人口高齢化がすすむわが国では、認知症の人の数は 160～170 万人といわれている。この数は今後も増えつづけ、2015 年には 250 万人になると推定されている。こうした状況のもと、認知症の人を介護する家族、及び介護にかかわる関係者に認知症に対する正しい知識と理解を深めるための情報を提供し、公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

認知症の人を介護する家族、及び介護に関わる関係者に認知症に対する正しい理解を深め、情報を提供するために機関誌「ぼ～れば～れ」を発行した。

ア. 編集委員会を設置し、年 2 回の編集委員会と月ごとに編集会議を開催した。

編集委員会では、年度中間での編集内容の検討、読者等からの反応・評価の検討と今後の対応、今後の編集内容や執筆者の決定などを行った。月ごとの編集会議では、原稿内容が適正かどうか、ページ割、見出しの検討、次号の内容決定等を行った。

イ. 機関誌「ぼ～れば～れ」の主な内容

機関誌の内容は、認知症に関わるニュース（国内、国外）、認知症に関する医療、介護などの連載、読者からのお便り、[家族の会] の調査研究の報告、介護体験、制度の解説、本人のためのページ（「仲間と出会い話したい」）、その他海外情報など

ウ. 発行部数は毎月 18,000 部（4～6 月号）～17,000 部（7 月号～3 月号）

配布先は、会員、支部、厚生労働省、地方自治体、保健所などの関係機関、福祉関係者、マスコミ、図書館、学校等。また本部や全国の支部で行う講演会、シンポジウム等でも、資料として参加者に配布している。

エ. アルバイトの採用

機関誌担当者として、アルバイトを採用した。主な業務の内容は、執筆者への依頼・連絡、原稿のチェック・入力、印刷会社への原稿送付、校正、編集委員会・編集会議の諸準備、機関誌発送作業等。

2. 予想される事業実施効果

近年、認知症の記事を掲載した雑誌や介護に関しての専門誌が多く出版されるようになってきた。しかし、認知症専門の月刊誌はまず発行されていない。このような中で、認知症の当事者を中心とした全国組織の立場で、本人や家族の視点に立った編集方針を大切にしたい他に類をみない機関誌として、役割を果たしている。これからも、介護家族からは介

護のよりどころとして、専門職には参考教材として、一般の人には認知症を理解するための資料として広く読まれるものとする。認知症の患者が増大し続ける状況において、今後は認知症の人が生きる勇気をわかせるような機関誌としての役割も担っていくことになり、「家族の会」の理念である、「ぼけても安心して暮らせる社会」へ向けて、その推進に貢献するものとする。

3. 本事業により作成した印刷物

機関誌「ぼ～れぼ～れ」207,000部

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：公益社団法人認知症の人と家族の会

住 所：602-8143

京都市上京区猪熊通丸太町下る仲之町 519 番地京都社会福祉会館

代表者名：代表理事 高見 久二雄（タカミ クニオ）

担当部署：本部事務局（ホンブジムキョク）

担当者名：事務局員 三木 敦子（ミキ アツコ）

電話番号：075-811-8195

F A X：075-811-8188

E-mail：office@alzheimer.or.jp

U R L：<http://www.alzheimer.or.jp/>